

たかけい学報

高経大生の
キャンパスライフを
サポートする情報誌

The Bulletin of Takasaki City University of Economics



特集
Part.1
p.1-2

海外研修トーク!

特集
Part.2
p.3-4

海外研修体験記

p.5-6 新入生インタビュー!

p.7-8 新任教員紹介

p.9 学生クローズアップ

p.10 ふるさとを語る

p.11-12 高経大の「神」授業

p.13 高経大のある街、高崎

p.14-15 たかけいINFORMATION

no.101

海外研修トーク!

2017年4月に経済学部国際学科を設置し、現在15の海外大学と提携を結ぶ本学では、年々海外研修支援事業参加者も増加しています。今回は海外研修支援事業のうち、「海外フィールドワーク」、「海外ボランティア」、「海外インターンシップ」に参加した学生3名に、国際交流センター長の経済学部秋朝教授を交え、お話を伺いました。

海外フィールドワーク
研修先：フィンランド・イギリス



木村 レイアさん
地域政策学部3年

海外ボランティア
研修先：カンボジア



田村 明日香さん
経済学部3年

海外インターンシップ
研修先：カンボジア



深瀬 広樹さん
経済学部4年



国際交流センター長 秋朝教授

【特集】飛び出せ

Jump forth from Japan!
Learn from all over the world!!

日本! 世界で学べ

秋朝教授(以下「秋朝」)：本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。本学の海外研修支援事業には語学研修、フィールドワーク、ボランティア、インターンシップがありますが、皆さんがそれぞれの海外研修に行くことになったきっかけを教えてください。

木村：1年生の春季休業期間中に、提携校のテネシー大学マーティン校(アメリカ)での短期語学研修に参加していて、もともと海外に関心がありました。今回は、所属している教育学専攻のゼミナールで海外フィールドワークの話が持ち上がり、参加をすることにしました。フィールドワークにはゼミナールに所属する2年生から4年生まで、計14人が参加しました。

田村：私も、1年生のときに提携校であるラ・トロープ大学(オーストラリア)の短期語学研修、2年生のときには国際学科プログラムでEFサントバーバラ校(アメリカ)での短期語学研修に参加経験がありました。過去の2回は先進国での語学研修でしたが、所属しているゼミナールでASEANや東南アジアなどについて学ぶうちに、現地を訪れてみたい気持ちが芽生えました。また、サークルでボランティア活動に携わった経験があったことや、海外に一人で行ってみたい気持ちがあったことから、自分でプログラムを探し、海外ボランティアというかたちで行くことにしました。

深瀬：高校時代から海外に対して興味があり、大学1、2年生の頃には海外での一人旅の経験がありました。今回は、海外インターンシップの場合にも大学から助成金が出ることを知り、就職活動も控えていたため、海外でのインターンシップに挑戦してみようと思いました。

秋朝：海外研修に参加するにあたって、語学面、金銭面などいろいろな準備が必要になると思いますが、どのような準備をされましたか。

木村：語学については、入学時から大学のe-learningを活用して勉強をしていました。加えて、フィールドワーク先がフィンランドとイギリスの教育機関であったため、ゼミナールの先生におすすめの本を聞いたりして、それぞれの国の教育制度について下調べを行い、事前に知識をつけてから臨みました。航空券についてもルートや経由地で金額に差が出るので、なるべく安い金額になるようなルートを探しました。

田村：海外でのボランティア経験がある従兄弟がいたので、まずは従兄弟からいろいろ話を聞きました。その後、自分で調べるうちに、海外ボランティアで大学から助成金をもらうには従事時間の基準があることがわかったので、国際協力活動を行う政府機関や、NGO、企業などが一堂に会する国内最大級のイベントである「グローバルフェスタ」に参加し、基準を満たすプログラムを探しました。海外ボランティアは多くのお金と時間を掛けて参加するものなので、プログラム決定までに時間がかかりますが、自分で見聞きして決めたいと思います。当初はインターネットでも検索したのですが、従事内容や時間が曖昧なものが多かったです。

深瀬：金銭面はアルバイト代から工面しようとしたのですが、それだけでは足りなかったので、両親に借りて準備をしました。また、インターンシップの内容がカンボジアでの商品開発・販売というものであったので、今までで学んできた経営学の知識などを、図書館を利用してながら復習しました。語学についてはクメール語が主流だったので、特段の準備はしませんでした。

秋朝：田村さんは今までも語学研修等で海外経験があるとのことですが、今回、初めてのカンボジアということで不安や苦労などはありましたか。

田村：今までも、現地に行けば何とかかなと思ってやってきたので、渡航前の不安はあまりなかったです。ただ、今回はプノンペンの幼稚園で英語を教えるというボランティアだったのですが、現地の先生も英語がわかる人があまりおらず、クメール語を使う人がほとんどだったので、身振り手振りで伝えることが大変でした。

秋朝：深瀬さんは現地の方とのコミュニケーションはいかがでしたか。

深瀬：英語がわかる人であれば英語を通じて意思疎通ができました。クメール語は全くわからなかったため、現地の日本語学校に通う学生などの協力を仰ぎ、通訳してもらいました。あとは、身振り手振りで伝えたり、スマートフォンを使ってコミュニケーションをとることができました。

秋朝：木村さんはフィンランドとイギリスの教育機関でフィールドワークを行われてきたとのことですが、特に印象的だったことなどはありますか。

木村：今回、教育をテーマにフィールドワークに行ってきましたが、日本とは風土、宗教など価値観が異なる中で、教育についてもこんなにも考え方に差があるということに驚きました。フィンランドではインクルーシブ教育といって、健常者の生徒と障がいのある生徒が同じ授業を受けていて、ともに学び合う姿勢を大事にしていたことがとても印象的でした。

秋朝：私はスウェーデンについて研究をしているのですが、実はスウェーデンで子供を2人出産し、子供たちはスウェーデンの小学校に通いました。1年生からスウェーデン語の授業が始まるのですが、勉強開始時点で子供によって読み書きの能力がバラバラなので、レベルに応じて、扱っている中身は同じで使われている文字数が違う教科書が3パターン用意されていました。簡単な教科書はほとんど絵で単語がくっついているくらいのもので、それぞれのクラスの担任の先生が、生徒の教科書のレベルを指定して渡していました。日本人的な感覚でいうと、小学校1年生から子供をランク付けするなんてって思うかもしれないけど、それぞれの子供にはそれぞれの学ぶペースがあるので、その子供に応じた教育を行っている、2年生になるとレベル別教科書は2パターン、3年生からは全員同じ教科書で授業を受けていました。スタート地点の違いによって支援内容や過程に差があるけれども、到達地点はある程度同じになるように個々の条件に合わせた教育を行っている、先ほど木村さんが言っていたインクルーシブ教育も同じような理念のもとにあると思います。

木村：フィンランドの小学校でもレベルに応じた教材が使われていて、それぞれの子供の四技能(読む、聞く、話す、書く)に応じたクラス分けがされていました。日本では先生が集中的に話すのに対して、フィンランドではYouTubeを使って授業を進めていたり、少人数のグループワークを行ったりしている光景を見て、日本の教育とは在り方が大きく異なると感じました。日本で文献を読んだだけでは、このような教育の実態を知ることができなかったため、フィールドワークに行ってもよかったと強く感じています。

秋朝：ボランティアと聞くと少し難しい活動というイメージもありますが、田村さんは実際に参加してみていかがでしたか。

田村：今までにボランティアの経験がものすごくあるというわけではなく、サークル活動をとおして触れたことがある程度でした。今回参加した海外ボランティアは通年で行われているプロジェクトで、そこに2週間ほど参加してきました。日本のボランティアは、何から何まで支援してあげるようなイメージがありますが、今回のボランティアでは、幼稚園児の身の回りの手助けをする中で、頼ってもらおうという機会が多かったので、ボランティアに対するイメージが少し変わりました。また、今回参加したプロジェクトにはオーストラリアやイギリスからも参加者がいたのですが、その人たちは集合時間のギリギリに集まるのに対して、日本人参加者は私を含めて集合時間の5分前には集まっていたので、時間に対するスタンスが違うということを実感しました。

秋朝：深瀬さんは、海外インターンシップで苦労した点などはありましたか。

深瀬：商品販売のための市場調査が最も苦労しました。今回のインターンシップでは、現地の人にウケる食べ物を考案し、販売するもので、最終的にはかき氷と生春巻きを販売したのですが、そこにたどり着くまでに紆余曲折がありました。当初はソーセージにチーズをかけたものを提案したのですが、現地の人にはなかなか受け入れられてもらえませんでした。就職活動に向けて、海外でのビジネスの雰囲気を感じたいと思い参加を決意しましたが、自分のアイデアと現地ニーズのギャップを感じました。その後は現地調査を進めるなかで、カンボジアの人は甘いものが好きであることと、暑いのに冷たい食べ物が多い売られていなかったことに着目し、かき氷を販売することにしました。生春巻きに関しては現地のスーパーなどを見る中で、色合いのいい食料品が多く買われていたので、現地の人目に留まるように色合いを工夫し、また、販売方法についても、人目を惹くように着ぐるみを着たりして、目標の売上を達成することができました。

秋朝：海外研修の前後で、自分の中で何か変わったと思うところはありましたか。

深瀬：言葉での意思疎通が難しかったので、表情や態度等から相手が何を考えているか、どうやったら受け入れられるかを自分で考えることが身についたと思います。

田村：私は、以前よりも自分のことをしっかりと相手に伝えることができるようになったと思います。あまり自分から話すタイプではないのですが、自分が話した分相手からも返ってくるので、わからないなりに自分から話しかけることの重要性を認識しました。

木村：私は、日本に帰ってきてから、もっと世界に視野を向けていこうと考えるようになりました。海外経験で新たなものの見方を身に付け、それを踏まえたうえで日本について考えてみると、また違う観点からの発見ができると思います。

秋朝：自分の経験を他の人に共有したり、他人の経験談を聞いたりすることはとても有意義なことなので、皆さんが海外で見聞きたことを、是非、周りの人に話してみてください。最後に、皆さんの将来のプラン、方向性について教えてください。

深瀬：就職活動は国内企業を考えていますが、将来的には海外で生活したいという気持ちを持っています。

田村：まだ明確なプランはありませんが、東南アジアに行ってみて好意を抱いたので、東南アジアを中心として途上国の支援に携わっていきたいと考えています。

木村：ゼミナール活動を通じて、教育についての知識を深めていくことが当面の目標です。フィンランドやイギリスで触れた教育制度を踏まえて日本の教育を見直し、問題や改善方法などを模索していきたいです。

秋朝：本日は色々なお話を聞かせていただきありがとうございました。この座談会を読んで、海外に興味を持ち海外研修に参加する学生が増えることを切に願っています。



海外研修体験記

「海外フィールドワーク」、「海外ボランティア」、「海外インターンシップ」に参加したそれぞれの学生のスケジュール、費用等を詳しく紹介します。

海外ボランティア



田村さんの場合

場 所
カンボジア

期 間
2019年2月10日～2月24日

渡 航 目 的
プノンペン幼稚園での英語指導 (projects abroad主催)

研修費用等

- 総額36.6万円
(内訳: 渡航費9.6万円(航空券、ビザ)、研修費25万円 (projects abroad参加費、滞在費などを含む) その他2万円(手数料、参加準備費用))
- 大学からの助成金 約8.5万円(後援会・同窓会含む)



2/10 日	出国
2/11 月～15 日	ボランティア活動
2/16 土	休日: 観光(国立博物館)
2/17 日	休日: 観光(ウドン、シルクアイランド)
2/18 月	ボランティア活動
2/19 火	祝日: 観光(キリングフィールド、トゥールスレン虐殺博物館)
2/20 水～22 日	ボランティア活動
2/23 土	休日: 観光(ロシアンマーケット、オリンピックスタジアム)
2/24 日	帰国

海外研修を終えて

私は2年生の春休みを利用して2週間カンボジアに行き、幼稚園でボランティアをしてきました。過去に短期留学経験はあったのですがもっと海外で英語を話してみたいと考え、海外ボランティアへの参加を決めました。実際に活動してみて、活動の中で毎日行った英語の授業が一番大変で、どのような授業をすれば子どもたちが飽きずに受けられるか考えながら進めていました。無邪気な子どもの笑顔、2週目から一緒に活動したメンバーにも助けられました。今回のボランティアではカンボジア、世界中から集まったボランティアの仲間、現地スタッフの方などの素敵な人たちに会えたことが一番の財産です。活動を通して自分で将来のこと、カンボジアのこと、子どもたちの将来についてこれからも考えていこうと思います。

海外フィールドワーク



木村さんの場合

場 所
フィンランド・イギリス

期 間
2019年2月10日～2月17日

渡 航 目 的
フィンランド及びイングランドの教育制度研究 (吉原美那子ゼミナール)

研修費用等

- 総額30万円
(内訳: 渡航費18万円、研修費6万円、滞在費2万円+交通費1万円、昼食・お土産代3万円)
- 大学からの助成金 約10.8万円(後援会・同窓会含む)

2/10 日	出国 東京～ヘルシンキ
2/11 月	研修(リントララクソ小中学校、ヘルシンキ大学)
2/12 火	研修(ヴァルテリ学校ルスキキャンパス)
2/13 水	研修(ヴァロマキ小中学校)
2/14 木	研修(ハックニー・ラーニング・トラスト)
2/15 金	研修(大英図書館、ロンドン大学)
2/16 土	帰国 ロンドン～東京(17日到着)

海外研修を終えて

今回私が参加した海外フィールドワークにおいて、フィンランドでは小中学校及び特別支援学校、イギリスでは民間企業が参入したハックニー区教育委員会を訪問しました。事前に下調べをゼミ仲間と行いましたが、実際に現地へ赴くと想像を遥かに超えた授業風景、子どもたちの生き生きとした表情、生徒一人ひとりを尊重する教員の姿を垣間見ることが出来ました。また、各国の人々の考えや価値観に触れ、日本では気付かなかった視点を持つことが出来ました。最後に、英語が上手く話せなくても伝えたいという思いがあれば必ずコミュニケーションは成立します。まだ海外へ行ったことがない方はぜひチャレンジしてみてください。きっと良い出会いが待っていると思います。



海外インターンシップ



深瀬さんの場合

場 所
カンボジア

期 間
2018年12月24日～2019年1月3日

渡 航 目 的
カンボジアの市場調査及び商品開発 (スパイスアップ・アカデミア主催)

研修費用等

- 総額22万円
(内訳: 渡航費10万円、研修費10万円、滞在費2万円)
- 大学からの助成金 約8.8万円(後援会・同窓会含む)



12/24 日	オリエンテーション、プノンペン市内視察
12/25 日	講義、市場調査
12/26 日	講義、聞き取り調査(現地日本語学校)
12/27 日	聞き取り調査分析、商品開発、試食会実施(現地日本語学校)
12/29 日	商品広告作成、商品販売(プノンペン大学、ライブ会場)
12/30 日	商品販売(プノンペン市内、プノンペン大学近辺、ライブ会場)
12/31 日	商品販売(プノンペン市内)
1/1 日	講義
1/2 日	講義、発表資料作成
1/3 日	研修まとめ、発表

海外研修を終えて

10日間のプログラムに参加しましたが、毎日非常に大変だったということが率直な感想です。5人1チームとなって「カンボジア人に対して食べ物売って」という目標でスタートしましたが、最初は右も左も分からない状態でした。しかし、アンケート調査や実際に試食してもらったことで、どうやらカンボジア人に受け入れてもらえるのかが徐々に分かってきたように感じます。最終的には、気取った「かき氷」と「生春巻き」を販売し、多くのカンボジア人に購入していただきました。結果が出せた要因は、チーム一丸となって朝から晩まで試行錯誤し続けたからこそだと考えています。10日間非常に濃い日々で、行って良かったと心から思います。

ボランティア活動の1日のスケジュール

8:00-8:30	英語の授業
9:00-10:00	ビデオ鑑賞 クメール語授業 レゴ遊びなど
10:00-10:20	手洗い指導
10:20-10:50	ランチ手洗い (食事補助など)
10:50-11:00	歯磨き手洗い
11:00-11:30	お昼寝手洗い
11:30-14:30	その日に応じた作業
14:30-15:00	シャワー手洗い
15:00-15:30	おやつ手洗い
15:30-16:00	お迎え手洗い



高崎経済大学に入学して

経済学部 1年 菊地 凜

私はこの春、平成31年度新入生として高崎経済大学に入学しました。この大学は日本各地からの様々な学生と、世界各地からの多くの外国人留学生が集まっており、国際色豊かで刺激の多い環境で学べることに期待が深まるばかりです。新入生だけでなく先輩方も親しみやすく、大学生活の相談にも親身に接してくださり、とても励みになっています。

私は経済学部部に所属しており、今の講義では、経済学の基礎や一般教養を中心に学んでいます。高校までとは違い、自分の興味のある分野を選択して学ぶことができるので、日々の講義を楽



しく受講しています。

私は高校では理系コースを選択していましたが、地理に興味を持ち、さらに調べる過程で学びたい分野が経済学部にあると知り、高崎経済大学への進学を決めました。大学での学びを通して、様々な変革が起こっている世界を正確に見つめる視点を養い、自分の人生に役立てていきたいと思えます。

大学生活という高校とは比較にならない自由な環境の中で今しかできない経験を積み、長い人生の糧となるよう励んでいきたいです。

■平成31年度 学部入学状況

()内は女性数で内数

入学区分	経済学部	地域政策学部	合計
一般(推薦含む)	516 (169)	405 (138)	921 (307)
私費外国人留学生	7 (3)	24 (7)	31 (10)
社会人	0 (0)	1 (0)	1 (0)
帰国生徒	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2年次編入・転入	0 (0)	11 (5)	11 (5)
3年次編入・転入	0 (0)	28 (19)	28 (19)
計	523 (172)	469 (169)	992 (341)

■平成31年度 大学院入学状況

()内は女性数で内数

入学区分	経済・経営研究科		地域政策研究科	合計
	現代社会経済システム専攻	現代経営ビジネス専攻		
博士前期課程第1期・秋季日程	1 (0)	1 (0)	4 (1)	6 (1)
博士前期課程第2期・春季日程	0 (0)	1 (1)	9 (5)	10 (6)
博士後期課程	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)
計	3 (1)	1 (1)	15 (6)	18 (7)

新入生インタビュー!

- Q1. 高崎市の率直な印象
- Q2. 入学後1ヶ月過ごした感想
- Q3. 大学でやりたいこと
- Q4. 4年後の自分に向けて



上野 颯花

経済学部
滋賀県立河瀬中学校・高等学校

- A1…… 栄えてる、警察がめっちゃ多い(笑)
- A2…… 色んな方言が聞けておもしろい、学食のオクラがおいしい
- A3…… 留学制度が充実しているので、留学したい
- A4…… 後悔しないように思い出と友だちをたくさん作りたい!!



田嶋 紘

経済学部
栃木県立足利清風高等学校出身

- A1…… 自然が豊かで空気がきれい
- A2…… 勉強内容が難しい
- A3…… FP検定に関する知識を学ぶ、TOEICの点数をあげる
- A4…… 日進月歩



國谷 七瀬

地域政策学部
栃木県立宇都宮南高等学校出身

- A1…… 風が強い、道が狭い!
- A2…… あっという間でした
- A3…… ボランティア活動、資格取得
- A4…… 就職に向けて頑張れ!



櫻井 綾香

地域政策学部
群馬県立沼田女子高等学校出身

- A1…… 風が強い、親切な人が多い
- A2…… 新しいことに悩んでばかりで、少し疲れてしまいました
- A3…… 資格取得に努めたい
- A4…… 自信を持って今の課題に取り組んで!頑張って!



及川 真菜美

地域政策学部
宮城県宮城第一高等学校出身




- A1…… 水田とシャッター街、駅ビルが混在している
- A2…… ずっと憧れていた地域政策学部と観光サークルに入れて嬉しい!
- A3…… 手帳が予定でびっしりの充実した生活を送りたい
- A4…… 高崎で一人暮らしの力を培ったから大丈夫!!




新 任 教 員 紹 介

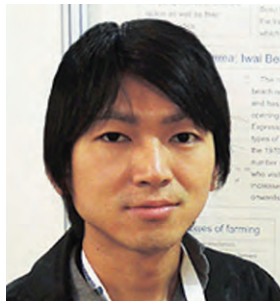


経済学部 経済学科 准教授 谷川 卓		略 歴 ●出身：千葉県 ●最終学歴：千葉大学大学院自然科学研究科博士後期課程修了 ●職 歴：日本学術振興会特別研究員などを経て、現職
	専門分野 哲学。なかでも現代形而上学と呼ばれる分野をとくに研究しています。	
	趣味・特技 無趣味と言ってよいような人間ですが、強いて言えば散歩です。	
	座右の銘 座右の銘といったものはとくにありません。座右の銘になりそうなものを今回探してみたりもしましたが、じっくりくものが見つかりません。代わりにふだん心がけていることを書いておくと、ふとしたときに抱いた疑問や違和感を大切にするようにしています。	
	今後の抱負 私は哲学、とくに現代形而上学と呼ばれる分野を専門として研究しています。その分野でこれまで取り組んできた研究を整理し、そしてそれに検討を加えて、ひとつの哲学的立場をできる限り明確な形で提示したいと思っています。また、本学での教育活動にもしっかり取り組みたいと思っています。	
学生へのメッセージ 学生生活は、実はいろいろすることがあるものです。ですから、意外に忙しい日々を送っているのではないのでしょうか。勉強するのは当然として、そのほかサークルだったり、アルバイトだったり、けっこうさまざまなことに追われているのではないかと思います。もしそうであるなら、ときには意識的にペースを緩めて生活してみるのもよいのではないのでしょうか。頑張ることはたしかに大事ですが、あまり根を詰めすぎないようにすることも大事だと思います。		

略 歴 ●出身：千葉県 ●最終学歴：東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得満期退学 ●職 歴：2019年4月より現職	
専門分野 中国の明清時代の白話小説、特に明末の凌濛初という人が編んだ短編白話小説集『拍案驚奇』及び『二刻拍案驚奇』、通称「二拍」を研究対象としています。	経済学部 経営学科 講師 笠見 弥生
趣味・特技 小さい頃からの趣味は読書、特に小説が好きです。電車移動が多いので、いつも文庫本を持ち歩いています。またいつの間にか神社仏閣めぐりも趣味になっていて、神社やお寺を見かけるとつい入ってお参りし、おみくじを引いてしまいます。	
座右の銘 座右の銘というほどではありませんが、つい浮かぶのは「心頭を滅却すれば火もまた涼し」です。	
今後の抱負 より多くの人に、中国文化や中国語、中国文学について興味をもってもらえるよう研究面でも教育面でも努めたいと思います。またせっかく高崎に来たので、高崎或いは群馬と中国のつながりにも目を向けていきたいです。	
学生へのメッセージ 大学の四年間は本当にあつという間に過ぎていきます。自分の大学生活を振り返ると、やればよかったと思うことはあっても、やらなければよかったと思うことは一つもありません。読みたい本や行ってみたい国など、後回しにせずにどんどん実現してください。	

地域政策学部 地域政策学科 教授 鈴木 陽子		略 歴 ●出身：奈良県 ●最終学歴：東洋大学大学院法学研究科博士後期課程 博士(法学) ●職 歴：武蔵野短期大学国際教養学科専任講師、武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部専任講師、准教授を経て現職
	専門分野 日本やアメリカの統治機構、なかでも権力分立の現代的変容について研究しています。権力分立の運用をめぐる問題や事象から権力分立の実態の変化を明らかにしていくことで、国家権力が特定の機関に集中し恣意的に行使されることを防ぐという権力分立の本来の目的を達成することに対して興味があるものと考えています。	
	趣味・特技 乗馬が趣味です。最年長オリンピック出場で話題になった法華津寛さんと同じ馬場馬術競技をしています。	
	座右の銘 "have the courage to follow your heart and intuition(自身の心と直感に従う勇気を持って)" Steve Jobs (2005) アップルの創始者のスティーブ・ジョブスが、スタンフォード大学の卒業式で行ったスピーチの一節です。	
	今後の抱負 学ぶことの意義、そして自ら問いをたて、追求していくことの楽しさを学生に伝えていきたいと思っています。	
学生へのメッセージ 人はしてしまったことの後悔より、しなかったことを強く後悔します。自分が諦めなければ、できることは多いです。いろいろなことに粘り強く挑戦してみてください。		

経済学部 経済学科 講師 塩澤 康平		略 歴 ●出身：長野県 ●最終学歴：大阪大学大学院経済学研究科 ●職 歴：日本学術振興会特別研究員を経て、現職
	専門分野 ミクロ経済学（顕示選好分析、一般均衡モデル、メカニズムデザイン）	
	趣味・特技 最近は、数理的なアルゴリズムについて調べたり、プログラミングをして遊ぶのが趣味です。読書、映画、音楽も好きです。なにか体を動かすような趣味を始めたいです。	
	座右の銘 座右の銘はないですが、行動することと考えることのバランスやタイミングに注意したいです。	
	今後の抱負 良い研究成果を出しつつ、教育を通じて学術的な知識や技術の重要性や面白さを伝えていきたいです。また、知識を学ぶ、知識を作る、知識を伝えるといった活動そのものの重要性和面白さも、教育研究活動を通じて伝えていけたらと思います。	
学生へのメッセージ 「なにかを楽しむ」ということは、実はある程度訓練できる技術だと思います。訓練は3ステップです。ステップ1:なんとなく興味があることについてインターネットで検索してみる。ステップ2:似たものに興味を持って楽しそうにしている人たちを見つける。ステップ3:その人たちは何をどのように面白がっているのかについて調べてみる。そうしているうちにきっと楽しみ方がわかってきます。楽しいことを探して参加してみましょう。		

地域政策学部 地域づくり学科 講師 太田 慧		略 歴 ●出身：東京都 ●最終学歴：首都大学東京大学院都市環境科学研究科博士後期課程 観光科学域 修了 博士(観光科学) ●職 歴：日本学術振興会特別研究員DC2、首都大学東京都市環境学部リサーチ・アシスタント、首都大学東京都市環境学部観光科学科特任助教を経て、現職
	専門分野 地理学、人文地理学、観光地理学、GIS (地理情報システム)	
	趣味・特技 趣味：旅行や街歩き、世界遺産巡りが最近の楽しみになっています。特技：軽音楽部やジャズ研究会でベースを弾いていました。文化系人間です。	
	座右の銘 座右の銘というものは特にありませんが、「継続は力なり」という言葉が頭に残っています。	
	今後の抱負 まず高崎の街に慣れ、高崎の魅力や課題を探ろうと思います。学生のみさんには地理や地図の面白さを伝えていければと思います。	
学生へのメッセージ 研究室でじっくり考えることも大切ですが、現地に足を運ぶことで地域の個性や特徴、課題について考えるきっかけになります。地域の課題について考えることは、適切な地域資源の利用や空間配置メカニズムの解明などのより専門的な研究につながります。そのためにはまず、身近な場所に目を向けて、地域の良さや課題について一緒に考えていきましょう。		

学生クローズアップ



高崎経済大学直属応援団団長 平井 聖奈
経済学部 4年



はじめに

私たち高崎経済大学直属応援団は2019年に新しい運営ルールで再出発しました。応援団自体は歴史のある団体ですが、『みんなが活躍できる応援団』を合言葉に再スタートしたのです。活動はスタートしたばかりで試行錯誤が続きますが、団員で丸となって様々なことに挑戦していきます。

高崎経済大学直属応援団の活動

私たちは団長、リーダー部長、総務部長、旗手隊長、副団長というように複数の役職で団を運営しています。それぞれが得意なことで団員を引っ張り、不得意なことは補い合っています。また、各学年にリーダーを置き、スムーズに団運営ができるよう工夫しています。

活動としては、試合応援や壮行式はもちろんのこと、式典やオープンキャンパスなどの大学行事への参加、地域行事への参加、ボランティア活動があります。試合応援や同窓会は県外で行われることが多いため、移動だけで疲れてしまうことがあります。皆様に元気をお届けできるよう気合いを入れて頑張っています。人数が少ないですが、みんなが使命感を持って活動一つ一つを丁寧にこなしていきます。

弊団は新しい取り組みとして、準団員制度を作りました。この制度は、行事ごとに団員を募集して正団員と共に行事を盛り上げてもらう制度です。もしその後も応援団を続けたいと思っただけなら正団員として入団することもできます。学ランは貸し出しができるため、やる気さえあればすぐにできます。運動経験や学年関係なく募集をしていますので、応援団が気になっている人はぜひご参加ください。練習は団員と共にいきますので、不安なことや分からないことがあっても気軽に聞ける雰囲気です。

活動以外の時間は準団員、正団員、学年関係なく交流をして団結を深めることを目標としています。誕生日の人がいれば、団員で計画を立てて準備をしてサプライズ、みんなで持ち寄ったもので鍋パーティー、野球やサッカーをしたりします。準団員も短い期間しかいなかったはずなのに正団員と別れるのが悲しくなってしまうくらい仲良くなれます。楽しい時間の共有は団結への1番の近道だと考えています。これからもオンとオフを上手に使い分けて団結力No. 1の団体をつくっていきます。

高崎経済大学直属応援団の練習

「応援団ってどんな練習をするの?」という質問をよく受けます。入団したらまずは基礎練習を行います。基礎練習とは、大きな声で数を数えながら腕を動かし続ける練習です。動きは単純ですが、正しく動いているととても疲れます。その後は実際の応援で使えるように学歌や応援歌、名物系(三扇節など)の中間リーダー(複数人で並んで手を叩いたりする)を習得します。それができるとリーダー(前に出て動く人)練習をします。決められた練習時間だけでは足りないため、それぞれが個人練習をする必要があります。また、1ヶ月に1回のペースで練習の時間にミーティングを行います。学年関係なく月ごとに進行役を変えて、今後の予定や課題を話し合います。風通しの良い団体になるようどの学年も意見を出しやすいよう会議を進行します。

高崎経済大学直属応援団の団員

弊団の団員のほとんどは大学に入学してから初めて応援団活動を始めました。運動系部活に入っていた人がいれば文化部だった人もいたため体力には大きな差があります。一人一人が課題を見つけ、解決できるよう日々練習をしています。

今後の高崎経済大学直属応援団

応援団に対して他の学生から持たれている暗い、怖い、厳しいというイメージを変えようと試行錯誤をしています。私は就職活動をしながらの改革で、精神的にも体力的にも苦しいときがあります。しかし、上手くいった団員が笑顔を見せてくれたとき、一生懸命に活動してくれている姿を見たとき本当に嬉しく思います。これからも団員のために改革を続けていきます。団員の満足度は応援へのやる気、やりがいにつながり、応援団に期待して下さるみなさまに応えることにつながると信じています。

今後、困難なことにぶつかってもみんなで協力をして乗り越え、より良いものになるよう日々努力を続けていきます。これからも大学を、地域を支えるオープンな応援団として活動を続けていきます。よろしくをお願いします。



ふるさとを語る

日本編その37 岡山県岡山市

『過ごしやすい街 岡山』

都市と田舎を兼ね備えた岡山市

私生まれ育った岡山県岡山市は人口70万人近い政令指定都市です。しかし、私はあまり岡山市を大都市だと感じたことがありません。これは遠方からの観光客が同じ地方の広島県や瀬戸大橋を渡って四国へと足を運ぶ方が多く、岡山県に滞在する観光客が少ないからかもしれない私は考えているのですが、私は逆にこのどかな雰囲気が気に入っています。高崎市は活気がある大きな町で、イベントで人がにぎわっているのを見て楽しくなりますが、時折岡山市の、市街地から少し外れると途端に静けさが増すあの雰囲気が恋しくなります。のどかな雰囲気が影響しておおらかな人も多く、岡山市は住むという観点からみると都会っぽさと田舎っぽさを兼ね合わせた過ごしやすい町であると考えています。



学生時代の大切な場所 後楽園

岡山市の中心部には日本三大庭園である後楽園があります。私の母校がすぐ近くだったこともあり、部活がない日の帰りに時折一人で足を運んでいました。季節の花や木を見ることが静かな庭園の中を歩くのは気持ちをリセットすることや気合を入れなおすことにとっても役立ちました。琴の演奏や能楽といったイベントが時折園内で開かれていて、普段経験することのできない体験をできることといった面でも後楽園は私にとってとても大切な場所でした。



お土産といえば大手まんじゅう

岡山と聞いて桃太郎を思い浮かべる人が多いことからかお土産としてきび団子が人気ですが、私は大手まんじゅうという岡山の銘菓をお土産として強く推します。こちらも定番中の定番のお土産ではあるのですが、私を含めた県民にも人気が高く、近所にあったお店に足を運ぶお客さんをよく目にしていました。甘さが控えめで、上品な甘さが口の中に広がるのがたまらないので岡山に足を運ぶ際はぜひお土産として買ってみてください。



海外編その38 韓国 (慶尙北道 金泉市)

『あなたが知らなかった韓国』

数少ない徴兵国家

日本人に聞かれる質問の一つとして、韓国の兵役問題があります。1950年に北朝鮮軍との死活をかける戦争が勃発して以来、韓国は18歳以上の男性を対象に徴兵を行っています。18歳になった成人男性は身体検査を受けていくつかの段階に振り分けられます。その後、振り分けられた部隊に入隊して1年半から2年間に渡り、軍人として訓練を受けます。実際ソウル駅周辺を歩くと、数少ない休暇を使って帰省する軍人たちを見ることができます。さらに、ソウルから北へ向かうと、軍人たちによって監視されている軍の施設やタンクが道路を走っている姿など、日本では見られない風景を見ることができます。



韓国のデリバリー文化

韓国も日本と同じくデリバリーのようなものが存在しますが、その種類と規模が違います。韓国で配達(ペダル)と呼ばれるこのサービスは、届かない品はないと自負できるほどの数多くの品を時間にこだわらずにその場所で受け取ることができます。ピザはもちろん、焼き立ての焼肉セットやさばき立ての刺身、大型スーパーのアプリを利用した当日買い物デリバリーまで、韓国のデリバリーサービスは幅広く発展しています。その中でも韓国風の中韓料理とフライドチキンはほとんどの韓国人に愛されている定番メニューで、今や韓国を代表する食べ物として位置付けられています。



海に最も近い駅、正東津(チョンドンジン)

韓国を観光する日本人のほとんどはソウルを考えますが、ソウルを離れるとさらに素敵な観光名所に触れ合うことができます。その中でも正東津は韓国ドラマのロケ地としても使われるほど雰囲気のある観光スポットで、ソウル駅から高速列車で2時間、普通の列車に乗り換えて30分程度の比較的近い距離に位置しています。乗換場所である江陵(カンルン)から正東津までは海沿いを走る列車で、海岸線を見ながら旅行を楽しむことができます。韓国の日の出スポットとしても有名な正東津は年末年始に日の出を見るために訪れる観光客で大変賑やかな街です。





担当教員

三牧 聖子

講義名

Introductory International Relations
(国際学科専門教育科目)

高経大の

授業

担当教員

若林 隆久

講義名

キャリアデザイン論
(地域づくり学科専門基礎科目)



教員からのメッセージ

毎日新聞くらい読んで、世界の時事問題を知っておくべきだ—みなさんも何度も言われてきたことでしょう。しかしそもそもなぜ、世界のことを知る必要があるのでしょうか。極端なことを言えば、世界のことを知らなくても、日本社会で生きていくことは可能かもしれません。むしろ、TVや新聞を通して連日伝えられる、紛争や飢饉にさいなまれる人々、難民となって祖国を追われた人々のことを知らない方が、「心安らかに」毎日の生活を送れるかもしれません。

しかしみなさんはそれでいいでしょうか。そもそも私たちの暮らしは、本当に**世界との関わりなしで成り立っているのでしょうか。**講義では、世界の現状やそこに生きている多様な人々について学んでいきます。その際、世界の諸問題を、「遠いところで起こっている他人事」として捉えるのではなく、彼らと私たちとの「**つながり**」について考えることを重視しています。

一例をご紹介します。私たちが毎日着用している洋服。10数年前に比べて、価格も随分下がりました。ユニクロやZARA、H&Mといった、グローバルに展開するファスト・ファッションの台頭によるものです。シーズンごとのトレンドを押さえたデザイン、シーズンが終わったら心置きなく廃棄できる低価格を武器に、ファスト・ファッションは世界を席巻しています。しかし、こんなに単価が安いということは、それを生産している人々にはどれだけの賃金を手渡されているのでしょうか。生きていくのに十分な金額でしょうか。もし十分でなかったら、彼ら彼女たちはどのように生きているのでしょうか。安く大量に供給されるようになったことで、日本国内市場だけみても、年間に破棄される洋服の量はトータルで33億着ともいわれますが、これらの洋服はその後どのような運命をたどるのでしょうか。

授業では、ファスト・ファッションの裏にある事実—途上国で衣料産業に従事する労働者たちの劣悪な労働環境、低賃金の長時間労働、廃棄された大量の洋服による環境汚染などに迫ったドキュメンタリー映画「The True Cost(真の代償)」など映像資料も用いながら、私たちの日々の生活が、誰かの犠牲に成り立っていること、その意味について考えていきます。2013年4月、バングラデシュの首都ダッカで縫製工場が入った8階建てのビルが倒壊し、1100人以上の死者、約3000人の負傷者を出しました。ダッカの縫製工場で働く一児の母シーマは、朝から1日12時間以上働き、休みは月1、2回。それでも驚くほどの低い賃金しか受け取っていません。彼女は私たちにこのように訴えています。

「私たちの血で作ったものを誰にも着てほしくない」。

この訴えに私たちはどうこたえていくべきでしょうか。

授業で扱うのは、世界で起こっていることのほんの一部。この授業を「イントロ」にして、みなさん自身の目でさらに世界を見つめ、そこで苦しんでいる人たちに共感を寄せ、問題の解決方法を一緒に考えていってほしいと願っています。そのことによってみなさんの日常にもきっと変化が起きるはずですよ。

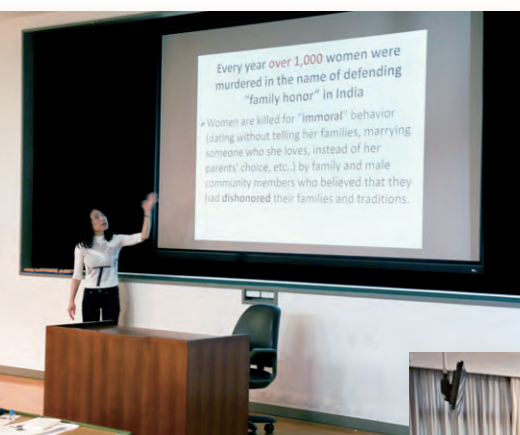
教員からのメッセージ

「キャリアデザイン」という言葉を聞いてどのようなイメージを持つでしょうか。また、大学の「キャリアデザイン論」の講義とはどのようなものかと思うでしょうか。大学での講義なので、**①学問的なキャリア論**を教えるものと思うかもしれませんが。最近では多くの大学で実施されているいわゆる**②就職活動支援的な内容**を思い浮かべるかもしれません。あるいは、地域政策学部ということで**③地域において活躍できる人(地域リーダー)やそのためのキャリアに関する内容**ということもありえるかもしれません。

学生としてはやはり**②就職活動支援的な内容**への関心・要望が大きいようです。もっともなことと思う一方で、講義でも伝えているいくつかの注意点があります。**(A) 答えはケース・バイ・ケースなので、正解は存在しない**ということ。全員ではないのですが、こと就職活動に関してはどこかにうまくやる方法(=正解)があってそれを知りたいという人も少なくありません。しかし、冷静に考えてみれば分かるように、誰にでもあてはまる唯一最善の方法(one best way)はないわけです。自分や自分の置かれた状況なりの回答を自分の頭で考えて行動していくしかありません(採用する側もそういう人が欲しいはずです)。そう考えると**①学問的なキャリア論**というものも無関係ではなくなります。自分の頭で考えるための考え方や視点を提供してくれるからです(そもそも、実際に行われている就職活動・採用活動が学問と無関係なわけではありません)。**(B) 大学で学ぶ学問と身近な世界(教室・学校とそれ以外)を切り離しすぎず、むしろ結びつけて考えることが大事**です。当然、キャリアに限ったことではありません。リーダーシップやキャリアに関する内容と地域に関する内容を結びつけて考えれば、**③地域リーダーやキャリアに関する内容**にもなるでしょう。キャリアは全員にそれぞれの形で存在するものですので、**(C) 最終的には自分事として自分で学んで自分で考えて自分で行動するほかありません。**

もちろん、安易な自己責任論に陥るべきではなく、大学でもサポートのために講義やキャリア支援センターなどが存在しています。キャリアデザイン論の講義では、自分事として考えてもらったり視野を広げてもらったりする工夫として、TwitterやBlogも活用しつつ講義内でGoogleフォームで回答してもらいその場で結果をフィードバックしたり、自分事となるようなレポート課題を設けたりしています。また、学生が将来のことを想像したり新たな視点を獲得したりするためにゲストスピーカーをお呼びすることもあります。毎回ではありませんが、現実味や親しみが持ちやすいロールモデルとして本学卒業生をお呼びすることもあります。

自分のことですし、週に一度は自分の人生について考えてみませんか。



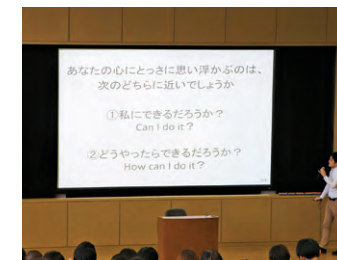
講義の進め方

- 第1回 Introduction
- 第2回 Modern warfare-Atomic bombs(1)
- 第3回 Modern warfare-Atomic bombs(2)
- 第4回 Global poverty(1)
- 第5回 Global poverty(2)
- 第6回 Human rights(1)
- 第7回 Human rights(2)
- 第8回 Midterm summary & midterm exam
- 第9回 Gender and violence(1)
- 第10回 Gender and violence(2)
- 第11回 Reflection and follow-up
- 第12回 Critical issues in contemporary Japan(1)
- 第13回 Critical issues in contemporary Japan(1)
- 第14回 Future of earth
- 第15回 Summary Discussion

※この講義は全て英語で行われます



①学生に質問をしながら講義を進めます



②Web経由(Googleフォーム、質問箱など)で学生アンケートや質問受付



③学生はQRコードを読み取りスマートフォンから回答



④リアルタイムで集計結果をフィードバック

講義の進め方

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 キャリアとは何か
- 第3回 就職活動/採用活動
- 第4回 自己理解・自己分析
- 第5回 キャリアを取り巻く環境
- 第6回 求められる能力・資質
- 第7回 大学生活で何をすればよいか?
- 第8回 経験から学ぶ
- 第9回 人との関わりから学ぶ
- 第10回 社会における学び
- 第11回 企業内のキャリア
- 第12回 境界を越えたキャリア
- 第13回 ケーススタディ①
- 第14回 ケーススタディ②
- 第15回 講義のまとめ・振り返り

高経大の ある街、高崎

Takasaki University student

Introduce popular spots

高崎市内のおすすめスポットや、高経大生がよく利用する場所を紹介する新企画「高経大のある街、高崎」が今号からスタート！
記念すべき第1回は、高経大生の食を支える「からさき食堂」さんにお話を伺いました！

●からさき食堂 高崎市下小埜町773 TEL:027-343-0841



高経大生の印象を教えてください。

自分の子どもというには年齢が離れすぎていますが、みんな我が子のような存在です。昔の学生は雪駄に半纏で来るような子もいましたが、段々とお洒落な学生が増えてきていると思います。自動車を持っている学生が増えたことも、昔とは変わったと感じています。



この日も多くの学生が利用していました

お店に来る学生の傾向は？

お昼は社会人の来店も多いですが、夜に来店するお客さんのほとんどは高経大生です。準硬式野球部、ソフトボール部、ラグビー部、陸上競技部など、体育会の学生を中心に多くの高経大生が来てくれます。みんなご飯を大盛、特盛で食べるので、1日に何回もご飯を炊いています(笑)。常連の学生の中には、忙しい時間に配膳やレジ打ちを手伝ってくれる学生さんもあります。

一昔前は、体育会の学生ばかりでしたが、最近は他のサークルの学生や、女子学生もよく来店してくれています。



店内の様子



女子学生も利用しています

お店の人気メニューは？

カツ煮定食、白い恋人(オムライスホワイトソースかけ)、チーズカツカレーなどが人気です。日替わり定食を500円で提供しているのですが、上記のメニューが日替わり定食になっている日は、多くの注文が入ります。学生の栄養面を考慮して、野菜炒め定食を日替わり定食として提供する日もあるのですが、あまり注文が入らないので、もっと野菜を食べてほしいですね(笑)。スタミナ定食(野菜炒めの豆板醤入り)は、もともとは夏場に食欲が落ちがちな体育会学生のために考案したもので、学生さんに合わせて作ったメニューも多くあります。逆に、白い恋人や豚玉chan定食(豚肉と野菜のあんかけ)など、学生がメニュー名を付けてくれたものもあります。



カレーを食べている学生が多かったのが印象的でした



日替わりのおすすめメニューは入口横で確認できます



メニュー

最後に、 高経大生に向けた メッセージを お願いします。

今現在来ていただいている学生はもちろん、部活やサークルを問わず、いろいろな学生の来店をお待ちしています！



信子さん

瑞枝さん

たがけい INFORMATION

高校生向けイベントのお知らせ

オープンキャンパスについて(事前予約推奨)

オープンキャンパスは、本学に興味をもっている高校生やその保護者などを対象にキャンパスを開放するイベントです。各学部の教育方針の説明や模擬授業、ゼミ展示などを行っていますので、是非お越しください。

●期日=7月14日(日)、8月4日(日)

●時間=9:00~14:00

●その他=高崎駅から臨時バスを運行いたします。詳細は本学のホームページにてご確認ください。



県外説明会の開催について

本学への志願者が多い地域の受験生などを対象に、本学の説明や入試に関する個別相談会を本学主催で行います。

開催市(会場)	期日
長野県長野市(JA長野ビル)	7月21日(日) 14:00~16:00
石川県金沢市(TKP金沢新幹線口会議室)	7月28日(日) 14:00~16:00
香川県高松市(リーガホテルゼスト高松)	9月 8日(日) 10:00~12:00
宮城県仙台市(ホテルJALシティ仙台)	9月22日(日) 10:00~12:00
愛知県名古屋(キャッスルプラザ)	10月6日(日) 10:00~12:00

大学体験DAY(要事前予約)

本学で実際に行われている授業を現役学生と一緒に受講し、大学の日常を体験します。大学案内やホームページからの情報だけでなく、自ら体験することで、本学が自身にとってより良い学び場であるかを確認できます。

●期日=7月15日(月・海の日)

●対象=高校生(既卒者含む)、保護者、教育関係者



各イベントのお問い合わせ 企画調整室入試チーム:電話027-344-6265

特命助教について

2019年度から、特命助教5名を採用し、各学部の初年次教育科目の担当や学習相談を行っています。

名前	研究分野
小林 啓祐	日本経済史、日本都市史
中澤 芽衣	地域研究、ジェンダー
中原 真祐子	倫理学、フランス思想
橋本 晃生	生態学、昆虫学、自然史
八木 はるな	中国語圏現代文学

アクティブラボを設置しました

2019年度から、研究棟1階に「アクティブラボ」を設置しました。アクティブラボには助教が常駐し、1年生を対象にした「日本語リテラシー」、「初年次ゼミ」の学習相談のほか、全学年を対象に広く学習相談を行っています。

	月	火	水	木	金
1限	閉室	○	閉室	○	閉室
2限	○	○	○	○	閉室
昼休	○	○	○	○	○
3限	○	○	閉室	○	○
4限	○	○	○	○	○
夕	○	○	○	○	○

上記は2019年度前期のもので、学期により開室時間に変更がある場合があります。

上記以外も会議等で閉室となる場合があります。

●お問い合わせ=教務チーム:電話027-344-6264

ホームページをリニューアルしました

2019年6月1日に、新ホームページを公開しました。今回のリニューアルでは、パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレット端末にも対応し、ご利用者の皆さまに、より見やすく、情報を分かりやすくお伝えできるホームページとなるよう、デザインや構成を刷新しました。

また、すべての方々がご利用しやすいサイトを目指し、文字サイズ調整機能や背景色調整機能、音声読み上げ機能といったアクセシビリティに配慮した機能、英語、中国語(繁・簡)、ハングル語に対応した多言語翻訳機能を追加しました。

●お問い合わせ=企画広報チーム:電話027-344-7584

大学構内無線LANについて

本学関係者(学生、教職員等)は、各自で持参したノートパソコンやタブレット、スマートフォンなどの端末を大学構内の無線LANに接続し、インターネットを利用することができます。

2019年4月8日から、新しい大学構内無線LANが利用開始となり、使用可能場所を拡充いたしました。

無線LANが利用できる場所

施設名	フロア等
1号館	全教室、6階ラウンジ
2号館	全教室
3号館	1階311~314教室、3階332教室
4号館	全教室、大学院生室、研究室
6号館	1階ラウンジ、1~3階全教室
7号館	1階食堂、2~4階ラウンジ、2~5階全教室
図書館	全フロア
研究棟	全フロア
事務棟	1階キャリア支援センター
三扇会館	2~3階全フロア

●お問い合わせ=情報システムチーム:電話027-344-7582

後援会からのお知らせ

平成30年度高経TOEIC成績優秀者表彰

TOEIC公開テストで700点以上を獲得した学生に表彰状と記念品を贈呈しました。平成30年度の該当者は以下の方々です。おめでとうございます。

最優秀賞 900点以上 (学年は平成30年度)		優良賞 700点以上 (学年は平成30年度)	
片岡 力さん 経済学部4年		齋 翼さん 経済学部4年	
布施 横さん 地域政策学部1年		大高 裕之さん 経済学部3年	
		荒井 大聖さん 経済学部3年	
		横沢 美佳さん 地域政策学部3年	
		片桐 圭祐さん 経済学部3年	
		伊藤 歩さん 経済学部2年	
		佐々木雪乃さん 経済学部2年	
		富永 隼斗さん 経済学部2年	
		品田なるみさん 経済学部2年	
		高村 桃香さん 経済学部2年	
		上村 徹さん 経済学部2年	
		亀井 涼雅さん 経済学部2年	
		栗原 敬さん 経済学部2年	
		木村 勇斗さん 経済学部2年	
		千葉 匠朗さん 経済学部2年	
		綾部 圭人さん 経済学部2年	
		山本 風人さん 経済学部2年	
		北原 和麿さん 経済学部1年	
		山口 美明さん 地域政策学部1年	
		出牛 菜葉さん 経済学部1年	
		野野 友亮さん 地域政策学部1年	
		塩路 真啓さん 地域政策学部1年	
		北村 佳乃さん 経済学部1年	
		(他 2名)	
		(他 1名)	

※現在、令和元年度分の申請を受け付けています。(提出期限 令和2年2月28日)

平成30年度外国語検定成績優秀者表彰

平成30年度の表彰者は以下のとおりです。

優秀賞・2級以上 (学年は平成30年度)		
齋藤 俊太郎さん	経済学部3年	ドイツ語

優良賞・3級 (学年は平成30年度)		
飯野 瑞希さん	経済学部4年	中国語
齋藤俊太郎さん	経済学部3年	ドイツ語
村岡浩太郎さん	経済学部3年	フランス語

高経大後援会学生奨学金について

学生の学業と生活支援を目的とした給付型奨学金制度です。給付額は各学期授業料の2分の1相当額もしくは3分の1相当額です。なお、対象者は授業料減免対象者の中から、特に成績優秀な学部学生を奨学金選考委員会で選定し、通知します。

支部総会の開催について

保護者の方を対象に、本学の現状報告や就職等に関する個別相談を行います。

支部	開催日	開催場所
関東甲信越支部	9月 1日(日)	高崎経済大学7号館731番教室
四国支部	9月 8日(日)	リーガホテルゼスト高松
東北支部	9月22日(日)	ホテルJALシティ仙台
東海支部	10月 6日(日)	キャッスルプラザ(名古屋市)
札幌支部	10月27日(日)	ANAクラウンプラザホテル札幌
近畿支部	11月10日(日)	ホテルグランヴィア大阪
北陸支部	11月17日(日)	ホテル金沢

※開催時間は14時～16時です。(関東甲信越支部のみ13時～15時です。)

※各支部総会開催約1ヶ月前までには通知をお送りいたします。

※山陰山陽支部の方には四国支部の通知をお送りいたします。

※九州支部は隔年開催となります。

●お問い合わせ＝後援会事務局：電話027-344-7902

同窓会からのお知らせ

今年度各地で開催される、同窓会支部総会の予定をお知らせいたします。出身県、近県の方はぜひご参加ください。在学生も大歓迎です。

●お問い合わせ＝学生支援チーム(同窓会事務局)：電話027-329-6693

支部	開催日	開催場所・時間
桐生支部	4月20日(土)	美喜仁館 17:00～ (済)
栃木支部	5月11日(土)	ホテルサンルート佐野 15:00～ (済)
本部総会	6月15日(土)	ホテルグランビュー高崎 18:00～ (済)
福島支部	7月14日(日)	グランパークホテルエルクレスト福島恵寿 16:00～
富山支部	7月20日(土)	富山電気ビル 16:00～
石川支部	8月18日(日)	ホテル日航金沢 17:00～
愛媛支部	9月 7日(土)	割烹 三鶴 17:00～
新潟支部	9月 7日(土)	万代シルバーホテル 14:00～
宮城支部	9月21日(土)	
岩手支部	9月28日(土)	
オホーツク支部	10月12日(土)	
三重支部	10月19日(土)	四日市シティホテル 17:00～
広島支部	10月19日(土)	ホテルセンチュリー21広島 17:00～
札幌支部	10月26日(土)	京王プラザホテル札幌 17:00～
大分支部	10月26日(土)	
関西支部	11月 9日(土)	新大阪ワシントンプラザホテル 16:00～
鹿児島支部	11月 9日(土)	
長野支部	11月16日(土)	
飯田支部	11月30日(土)	ホテル弥生 17:00～
四国合同支部	11月30日(土)	
徳島支部	1月25日(土)	

支部総会の開催情報は、同窓会ホームページでも随時お知らせしています。

同窓会ホームページ：<http://www.takakeidai-doso.jp/>

